

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	27	就職に役立つ話し方講座	2単位	半期
指導講師	稲村 透			
授業のテーマ	社会人として必要な、日本語力およびコミュニケーション能力、プレゼン能力の向上を目指す			
授業計画及び内容	<p>1：コミュニケーション力・話をまとめる力の向上                  2：日本語力の向上                  3：プレゼンテーション能力の開発                  4：漢字検定・日本語検定・アナウンス検定・話しことば検定などの資格取得を目標とする演習</p>			
教材・参考書				
成績評価の方法				
履修上の指示事項				

【学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター】

番号：学科目名	28	アナリーゼ	4単位	通年
指導講師	真島 圭			
授業のテーマ	様々なジャンルや時代の音楽を取り上げ、それらの楽曲の仕組みを考えます。			
授業計画及び内容	<p>アナリーゼとは“楽曲分析”という意味です。</p> <p>楽曲がどのように成り立っているかを、様々な観点から勉強していきます。</p> <p>形式は2部形式、3部形式など小さな形式からはじめ、ロンド、変奏曲、フーガ、ソナタ形式まで取り上げ、ポップスの形式などにも言及します。</p> <p>その他さまざまな種類の音階やコード進行にも触れ、曲中の「仕掛け」を読み解いていきます。</p> <p>ピアノ曲やオーケストラ曲、ポップス曲など、幅広いジャンルの曲を取り上げます。</p>			
教材・参考書	適宜プリント配布。			
成績評価の方法	後期に勉強の成果としての作品提出を課す予定です。			
履修上の指示	楽典や和声、コードの知識が備わっているとより理解しやすい授業ですが、曲を鑑賞することが多いので、初心者の方でも受講可能です。			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	29	和声入門（クラシック/ポピュラー） / 和声総合（クラシック/ポピュラー）	4単位	通年
指導講師	園田 優			
授業のテーマ	入門：ハーモニー学習の基礎 / 総合：機能と声の実施と研究			
授業計画及び内容	<p>入門：「和声」という言葉だと、クラシックのハーモニー理論を連想するが、具体的な和声学を学ぶ前に、現代のポピュラー音楽にも、クラシックの音楽にも使用されている「和声」を聞いたり、体験したりしながら、ハーモニーの構造を少しずつ紹介していく。講義の他、ハーモニーの実践も行うことで、ハーモニーの根幹を学ぶ。コードも和声も、理論の理解と実践は大変難易度が高い部分があるため、具体的な理論構造の理解はこの授業では扱わず、「こんなハーモニーの働きがあると、こんな風に音楽が変化する！」というような、ハーモニーによる効果を体験する授業とする。具体的な機能と声の実施はこの授業では行わないため、機能と声の技術習得を目的とする者は「和声」の授業履修を薦める。</p> <p>総合：クラシックと呼ばれる時代の音楽(J. S. バッハ～J. ブラームスくらいまでの時代)の和音の進行の「文法」を理解することが目的になります。</p> <p>内容と開講時間の関係で少人数の授業になることが多く、原則個別対応の形をとっています。新規の方は仮授業や初回授業で勉強の進め方当日個別に相談させていただいてから方針を決めるのが良いと思われます。急いで教材を購入されなくて大丈夫です。</p> <p>Aパターン 赤本と呼ばれる「和声 理論と実習 I」(池内友次郎他著・音楽之友社)を使用し、順調にいけば一年の授業でヤマハやカワイのグレード試験に対応できるくらいまで進む。</p> <p>Bパターン ・はじめて勉強する人から学習経験者まで幅広いレベルの人に対応する ・和音分析中心に進める</p> <p>等の理由により、担当講師が用意した基本的なカデンツ課題の実習から始め、和音分析課題へと移行し、最終的には実作品(クラシック)の和声分析へと進む。</p> <p>Cパターン(経験者の場合) ・ヤマハ、カワイのグレード試験の和声課題に集中して取り組む。必要であれば他の課題も並行する。 ・「和声 理論と実習」の課題を継続して添削 ・実作品の和音分析に取り組む。 ・その他希望する学習内容があれば可能な限り対応します。</p>			
教材・参考書	各授業によって異なる。			
成績評価の方法	各授業によって異なり、「和声」理論と実習 I 音楽之友社(赤い和声の教科書)他の参考書を薦める場合もあります。			
履修上の指示事項	各授業によって異なる。			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	29	和声入門（ポピュラー） 和声総合（ポピュラー）	2単位 2単位	半期
指導講師	内田 一広			
授業のテーマ	和声の基本となるコードの使い方を鍵盤を使って学習する。			
授業計画及び内容	<p>メジャースケール(長音階)とその上にできるダイアトニックコードを基本に、ミュージシャンとして知っておくべき定番コードの使い方を学びます。</p> <p>リードシート(メロディーとコード記号だけの楽譜)での演奏に必要な、ボーイングのテクニックと、リハーモニゼーション(和音の置き換え)のスキルを身に付けます。</p> <p>【入門】 ①音の引力：メジャースケールの世界(2つの音の関係、導音とクロマチックアプローチ、属音とドミナントモーション) ②白鍵だけの世界 その1：ダイアトニックコード(3つ重ねてトライアド、4つ重ねてセブンスコードの使い方) ③白鍵だけの世界 その2：ダイアトニックコードの機能と連結(終わった感じを出す、セブンスコードが必要なわけ) ④白鍵だけの世界 その3：作曲と編曲(ボイスリーディングでコラー、メロディーにクロズドボーイング) ⑤黒鍵も使いたい その1：どこでもドミナント(他の調からやってきた、セカンダリドミナント)</p> <p>【総合】 ⑥型を覚えよう：ケーデンスと定番のコード進行(前期の復習) ⑦黒鍵も使いたい その2：こんな所にもドミナント(裏コードとは) ⑧黒鍵も使いたい その3：短調からやってきた(この音がサブドミナントマイナー) ⑨さらに知りたい その1：よく見かけるsus4とは(sus4コードとテンション) ⑩さらに知りたい その2：特徴音でコスパ良く(3と7でオープンボーイング)</p>			
教材・参考書	飯田俊彦著「やさしく学べるジャズハーモニー1・2」(全音) ※参考図書です			
成績評価の方法	出席状況と課題への取り組み			
履修上の指示事項	各回の積み重ねで進みます。欠席しないことが1番大切です(休んだ場合は質問に来て必ず遅れを取り戻してください)。			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	30	対位法	4単位	通年
指導講師	園田 優			
授業のテーマ	メロディー作曲とメロディーのハモらせ方を学ぶ			
授業計画及び内容	<p>対位法は、昔からある作曲技法の一つで、歌詞やリズムの影響なく、音と音をつないで作曲する方法をみつめる方法です。 昔からあるルールはもちろん、現代のメロディー作曲と共通するところ、全然ちがっているところなどを比べ、学習していきます。</p> <p>よく、「クラシックの作曲理論なんて、役にたつの？」という方がいますが、クラシックだからこそ基本を簡単に勉強できるし、リズムなどの難しい部分を排除して、メロディーの働きをしっかりとみつめて学ぶことができます。</p> <p>現代のメロディー作曲に必要なルールを整理して、自分のメロディー作曲にどう生かしていくかを一緒に考えましょう。</p> <p>一年間かけて、学習することもできますし、メロディーの基本学習は半年として考えておりますので、半年でも学習可能です。また、2年目以降はフーガの学習をするので、複数年の履修も可能です。</p> <p>(例) 前期：厳格対位法を元としたメロディー作曲法 後期：ハーモニーを伴ったカノンなどの作曲</p>			
教材・参考書	特になし			
成績評価の方法	作曲の提出作品			
履修上の指示	楽譜を使った授業ですが、楽譜の読み書きも学べる授業ですので、学習初心者でも履修可能です			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	31	オーケストレーション（管弦楽法入門）	8単位	通年
指導講師	真島 圭			
授業のテーマ	オーケストラ作品を歴史的に概観し、各楽器への理解を深め、楽譜制作も試みる。			
授業計画及び内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラの諸楽器について</li> <li>・オーケストラ作品のスコア(総譜)について</li> <li>・オーケストラの諸編成について</li> <li>・クラシック音楽の歴史に沿ってバロック・古典派・ロマン派・近代の名曲を楽譜を参照しながら鑑賞</li> <li>・小編成から楽譜制作の実習(書きかえ・編曲・作曲)</li> </ul> <p>等の項目を、履修者の希望や状況により考慮しつつ進めていく予定です。</p>			
教材・参考書	授業内で資料配布予定。オーケストラのスコアやオーケストラについて書かれている本は何でも参考にしましょう。			
成績評価の方法	平常点と課題提出			
履修上の指示	楽譜制作に必要な知識(楽典や楽譜作成)をある程度は備えている前提の授業になります。			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター/コンピュータミュージック】

番号：学科目名	32	DAW・DTM入門	4単位	通年
指導講師	福島 英樹 / 東 佑樹			
授業のテーマ	音楽制作ソフトの基本操作を習得します。			
授業計画及び内容	<p>昨今、音楽業界においてDAW・DTMといわれる音楽制作ソフトの使用は当たり前となりました。</p> <p>この授業では初心者を対象に、パソコンの電源の入れ方から周辺機材の扱い方、音符の入力（打ち込み）やマイクを使った録音方法などを学びます。</p> <p>今後の音楽活動にもきっと活かれます。</p> <p>※DAWソフトの指定はありません。</p> <p>《特記事項》 授業が連続していますが、1人1コマのみの受講となります。 2コマ受講しても単位の重複にはなりません。</p>			
教材・参考書	適宜配布。			
成績評価の方法	出席と授業態度において評価します。			
履修上の指示	ヘッドフォンかイヤフォン、USBメモリー（容量の目安4GB～16GB）、筆記具			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター/コンピュータミュージック】

番号：学科目名	33	プレイヤーのためのDAW・DTM入門	4単位	通年
指導講師	福島 英樹 / 東 佑樹			
授業のテーマ	プレイヤー向けに音楽制作ソフトの基本操作を習得します。			
授業計画及び内容	<p>昨今、音楽業界においてDAW・DTMといわれる音楽制作ソフトの使用は当たり前となりました。</p> <p>この授業では初心者を対象に、パソコンの電源の入れ方から周辺機材の扱い方、音符の入力（打ち込み）やマイクを使った録音方法などを学びます。</p> <p>特にプレイヤーやシンガーソングライター向けの内容となります。</p> <p>※DAWソフトの指定はありません。</p>			
教材・参考書	適宜配布。			
成績評価の方法	出席と授業態度において評価します。			
履修上の指示	ヘッドフォンかイヤフォン、USBメモリー（容量の目安4GB～16GB）、筆記具			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	34	作詞入門	2単位	前期
指導講師	加藤 哉子			
授業のテーマ	初めての作詞			
授業計画及び内容	<p>この授業は、主に初心者の方を対象に、作詞を基礎から学ぶ講座です。 はじめは言葉の連想力を鍛えるトレーニングからスタートし、段階的にメロディに合わせて歌詞を制作する実践へと進んでいきます。</p> <p>初心者向けの内容ではありますが、「作品を完成させること」を重視した授業のため、出席のみでは評価の対象となりません。課題提出は必須となります。</p> <p>最終的には、プロの作曲家によるトラックに対して、自身の力で歌詞を完成させることを目標とします。一歩ずつ取り組んでいきましょう。</p>			
教材・参考書	基本は授業内で画面共有。適宜プリント配布			
成績評価の方法	出席と履修態度、課題提出			
履修上の指示				

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	35	作詞・作曲入門(シンガーソングライター)	4単位	通年
指導講師	坂上 知之			
授業のテーマ	作詞作曲初心者～中級者向けにシンガーソングライターの目線を大切に作詞作曲の基本を指導します。			
授業計画及び内容	<p>楽器はある程度扱えるが、作詞作曲はほぼ経験のない初心者～中級者を対象に、基本の考え方を学びつつ、それぞれが一曲を完成させられること、あるいは完成した楽曲を弾き語り出来るようになることを目標とします。</p>			
教材・参考書	特になし			
成績評価の方法	出席、実技、授業態度			
履修上の指示				

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	36	作曲・編曲入門(シンガーソングライター)	6単位	通年
指導講師	比留間 徹			
授業のテーマ	楽曲の「レシピ」(コードやリズムアレンジetc.)の基本に触れ、その中から作曲・編曲の方法を学んでいきます。			
授業計画及び内容	<p>まずは普段耳にしている音楽がどのような構造でできているのか、その基本的なところを見ていき、そこから刺激を受けたり、ヒントを得て、それらを自身の作品に活かしていけるようにしていきます。</p> <p>難しく考えるよりも、取り組むこと、慣れることが大事と考えます。</p> <p>進行上、理論的なこともこの授業では触れますが、違った角度から見えていくことで身につけることができます。</p>			
教材・参考書	適宜配布			
成績評価の方法	作品と履修態度など取り組み方の積極性			
履修上の指示事項				

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	37	作曲・編曲入門(ポピュラー)	4単位	通年
指導講師	欠田 芳憲			
授業のテーマ	メロディ、コード、リズム、形式、音色など音楽のしくみを理解しながら作曲と編曲を学びます。			
授業計画及び内容	<p>「作曲」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロディを作る。(旋律の構造的性)</li> <li>・メロディにコードを付ける。(3コードの働き)</li> <li>・リズムを付ける。(メロディとリズムの関係)</li> <li>・基本の音色を選んでベーシックのトラックを作る。(ガレージバンドへ録音)</li> </ul> <p>「編曲」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲したベーシックトラックのコードを変えてみる。(リハモナイズ)</li> <li>・ベースパートを変えてみる。</li> <li>・音色を変えたり、増やしてみる。</li> <li>・オリジナルの形からイメージに沿ったアレンジを試してみる。</li> </ul>			
教材・参考書	テキストはプリントを配布します。			
成績評価の方法	出席数と課題に取り組む姿勢を評価します。			
履修上の指示	どのような音楽を作りたいか、具体的な作品例を用意すること。			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	38	作曲・編曲総合(シンガーソングライター)	4単位 集中講座	通年
指導講師	保科 篤志			
授業のテーマ	J-POPを中心に、その他のジャンルやスタイル全般も含めた総合的な作曲・編曲の授業です。			
授業計画及び内容	<p>まず自分の表現したい音や、フレーズをイメージとしてはっきり認識するところから始めます。最初に出来た簡単なモチーフから発展させて、一つの曲として完成させるプロセスを学びます。</p> <p>メロディーの作り方やコードの付け方を学ぶ中で、コード進行やスケールの基礎的な理論も分かりやすく説明していきます。</p> <p>曲の構成や形式も学び、最初は指定されたコード進行や構成（形式）をもとにオリジナル作品を作ります。また指定されたメロディーにコードを付けることもします。</p> <p>既成の曲の分析も授業内で数多く行ない、そこから得る様々なアイデアを自分の作曲に活かせるようにしていきます。</p> <p>また、その他種々の細かい作曲・編曲のテクニックに加え、作詞の基本も学び受講者それぞれの好みのスタイル、オリジナリティー、また専門の楽器を活かしそれらを尊重しながら自由な発想の幅広いジャンルやスタイルの作曲を目指します。</p> <p>優秀作品は学院内での作品発表・コンサートへの参加、レコーディングの参加をお勧めしています。</p> <p>※授業内容は各講師により違いがあります。(平泉先生は集中講座になります。日程はポータルサイトでお知らせします) ※前期・後期ともに試験期間やオアシスライブ週間にライブ発表を行います。</p>			
教材・参考書	授業中に配布。			
成績評価の方法	作品と履修態度など取り組み方の積極性			
履修上の指示事項	イヤートレーニング、楽譜の知識、理論は各自でもしっかり学んでください。			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	39	作曲・編曲総合(ピアノ・合唱) (前期)	2単位	通年
指導講師	園田 優			
授業のテーマ	詞先での作曲。合唱編曲。			
授業計画及び内容	<p>依頼作曲の体験授業として、発注先より送られる歌詞に基づき、詞先でのメロディー作曲を実践。また、作成したメロディーから、合唱編曲(コード付け)やピアノ伴奏作曲を体験する。授業履修生より選出された方は、実際に依頼作曲家として活躍していただき、依頼先の高校生の合唱コンクールの曲として採用される。譜面での提出となるため、へ音記号を含めた楽譜を理解出来る方、楽譜を書ける方、楽譜浄書が可能な方が望ましい。</p>			
教材・参考書	特になし			
成績評価の方法	合唱作品を楽譜にて提出			
履修上の指示				

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	40	作曲・編曲総合(ジャズ)	4単位	通年
指導講師	保科 篤志			
授業のテーマ	<p>作曲とアレンジを基礎的な事から専門的な事まで実践的に学ぶ授業です。 シンガーソングライター、バンドでの活動、作曲家やアレンジャーとしての活動、ジャズミュージシャンとしての活動、その他どんな形態での活動を目指す人でも総合的に学びます。 主に作曲の経験がある人向けの授業ですが、まだ作曲に慣れていない初歩の段階の人でもしっかり学べる授業です。</p>			
授業計画及び内容	<p>まず作曲においてとても重要なコード進行の組み立て方についてしっかりと時間をかけて学びます。 また、人の心に残る印象的なメロディーの作り方、それらを適材適所で最も効果的に構成していく方法、何より最初の段階でそれらの事をイメージできるようにどう訓練するかといった作曲の基本であり、一番重要なところでもある事から学びます。</p> <p>また、作曲やアレンジをする上でのあらゆるシチュエーションで生じる様々な問題、悩みを解決する糸口を自分で見つけられるようにしていきます。</p> <p>いつも同じ様な曲調になってしまう、次の流れが思い浮かばない、飽きがきやすいなどといった問題に、可能な限り個別にそれぞれの人が直面する問題と向き合えるよう、ディスカッションも含めながら学んでゆきます。</p> <p>自作の曲は授業内で作品発表をしながら実践的に学びます。</p> <p>またバンドで演奏する際のそれぞれの楽器の専門的な知識、あらゆる楽器編成のアレンジの方法を様々なジャンルやスタイルの曲にあわせて学んでいきます。</p> <p>最終段階として編成の中にストリングスオケ、プラスやサクセスクション、コーラスセクションなどが入る場合まで想定し、それらのアレンジまで出来るように専門的に学びます。</p>			
教材・参考書	プリントを配布します。			
成績評価の方法	学習姿勢。年2回のプロジェクト。			
履修上の指示	作曲中級者対象です。(初心者も可)			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	41	作詞総合(基本から実践まで)	8単位	通年
指導講師	比留間 徹			
授業のテーマ	歌詞の創作を具体的に講義します。			
授業計画及び内容	<p>歌詞を創作する上で“ひらめき”はとても大切ですが、それだけに頼るとひらめかなければ作品が出来ません。</p> <p>基本として、テーマの発想の仕方やフレーズの導き出し方等を自分なりに学んで頂きオリジナリティー溢れる作品を、必要に応じて描けるようになって頂ければと考えています。</p> <p>メロディに言葉を付けてゆく方法やラップミュージックへのアプローチの仕方といったより実践的な講義も行っていきます。</p> <p>授業は作品を創作する時間を必ず設けて、それぞれにアドバイスをしながら進めていきます。</p> <p>また既存の歌詞や受講生の作品を、分析及び解説もしていきます。</p>			
教材・参考書	プリント・受講生の作品			
成績評価の方法	課題提出			
履修上の指示	一作でも多く作品を創作してください。			

【学科目区分：ロック/ポップス/ジャズ/フュージョン/R&B/ラテン】

番号：学科目名	42	アーティスト養成実践(作曲・DTM)	8単位	通年
指導講師	ヒダカトオル			
授業のテーマ	ミュージシャン/音楽プロデューサーによる、DTM/DAWを使用した音源制作や、作詞家、作曲家、編曲家などを目指す上で必要な、楽曲制作の基本となる考え方や方法論を、プロの現場での経験を元に様々な角度から講義/実演します。			
授業計画及び内容	<p>この授業では、初心者から上級者までレベルを問わず、録音物としての音源制作をデスクトップ上で進めるための基本的な考え方や方法をDTM/DAWを通じて学びながら、音楽制作の土台となる、作曲、作詞、編曲など具体的なアンサンブルの構築例、コンピューターと実際の演奏のバランス感などを、過去の名曲を例題に挙げながらポピュラー音楽の基本的な理念を学んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末までに、インターネット上での音源発表を目標に、具体例や様々な方法論を学び、試し、分析し、今後の作編曲に活かしたり、アーティストとして活動していく上で必要な実践、知識などを総合的に授業していきます。</li> <li>・音楽ってこんなにも自由で楽しいものだと感じてもらえる授業内容を目指します！！</li> </ul>			
教材・参考書	必要に応じて授業内でプリントを配布します			
成績評価の方法	総合評価			
履修上の指示事項	年齢や経験は不問ですが、特定のジャンルよりはポピュラー音楽全般に興味を持つ事でより楽しめる内容になります			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	43	アコースティックギター弾き語り	4単位	通年
指導講師	我那覇 美奈			
授業のテーマ	初心者～中級者向けのアコースティックギター弾き語りの実践的なテクニックを指導します。			
授業計画及び内容	<p>ギターのコードぐらひは弾けるといふ初心者～中級者を対象に、新旧様々な曲を用いて弾き語りをする時のテクニックや練習法など実践的に行ないます。</p> <p>ギター未経験の方は「コード入門」や「バンド理論」とあわせて履修してみてください。歌については「ヴォーカル入門」もあわせて履修することを推奨いたします。</p> <p>最終的には、1 F オアシスで弾き語りライブを行なうことが目標です。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <p>前期・後期、それぞれの最後にオアシスライブを開催</p>			
教材・参考書	資料適宜配布。各自ギター持参。(アコースティックギター)			
成績評価の方法	実技・出席の総合評価。			
履修上の指示事項	音楽療法などの現場でも役に立つ講座です。			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	44	ソングライティング	6単位	通年
指導講師	オータケハヤト			
授業のテーマ	J-POPを中心に、その他のジャンルやスタイル全般も含めた総合的な作曲・編曲の授業です。			
授業計画及び内容	<p>まず自分の表現したい音、フレーズをイメージとしてはっきり認識するところから始めます。最初に出来た簡単なモチーフから発展させて、『0から1』一つの曲として完成させるプロセスを学びます。</p> <p>①グルーブとビートを中心に音楽はできている、ということを中心に学びます。                  ②リズムについて、ドラムMIDI、打ち込みのレクチャーを中心に学びます。                  ③年代別ジャンルの歴史を学びます。ミュージシャンを料理人に例えるならば、レシピを学びます。                  ④受講者それぞれの好みのスタイル、オリジナリティー、また専門の楽器を活かしそれらを尊重しながら自由な発想の幅広いジャンルやスタイルの作曲を目指します。個人主義で構いません。</p> <p>cubase logicなど、個々の使いやすいDAWに対応して行いますので、お気軽にどうぞ。</p> <p>優秀作品は学院内での作品発表・コンサートへの参加、レコーディングの参加をお勧めしています。                  ※授業内容は各講師により違いがあります。                  ※前期・後期ともに試験期間やオアシスライブ週間にライブ発表を行います。</p>			
教材・参考書	授業中に配布。			
成績評価の方法	作品と履修態度など取り組み方の積極性			
履修上の指示事項	イヤートレーニング、楽譜の知識、理論は各自でもしっかり学んでください。			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	45	音源制作	6単位	通年
指導講師	オータケハヤト			
授業のテーマ	プリプロ音源制作についての授業。			
授業計画及び内容	<p>①ソングライティング授業等で、制作したオリジナルの楽曲を中心に、個々のジャンルによるMIX、EQ、ダイナミクス、音作りの為の音源制作を学びます。                  作編曲経験が多彩な人は、持ち曲（バラデータ、ステムデータ持ち込みでもOK。一緒に研究しましょう！）</p> <p>②インストカラオケ用、シンガーソングライター用、SNS用、歌ってみたMIX師、生バンド音源編曲MIXから配信リリース用、オーディション用のデモなど様々な個人のア트워크に寄り添います。</p> <p>個人の空間を大事にし、やりたいことを形にする授業にしたいと考えております。                  ※DAW(音源制作ソフト)は、cubase logic どちらでもOKです。</p>			
教材・参考書	授業中に配布。			
成績評価の方法	作品と履修態度など取り組み方の積極性			
履修上の指示事項	イヤートレーニング、楽譜の知識、理論は各自でもしっかり学んでください。			

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	46	現場で役立つ映像音楽の作り方	4単位	通年
指導講師	ティム・ドナヒュー			
授業のテーマ	テレビ/CM・映画音楽制作を学ぶ、さらにテレビ/CM・映画音楽制作の分野でのキャリアをチャレンジ！			
授業計画及び内容	<p>『バック・トゥ・ザ・フューチャー』『ピンク・パンサー』『タイタニック』『アラビアのロレンス』など、名作の音楽を徹底分析。                  さらに、日本のテレビCMや、受賞歴を誇る映画『マークスの山』におけるティム先生の実践的なサウンドトラック制作も学びます。                  本講座では、メロディやモチーフの作曲から、アレンジ、オーケストレーションまで、映像音楽制作に必要なスキルを総合的に習得。                  実践的な課題とプロジェクトを通して、「映像に音楽をつける力」をしっかり身につけていきます。</p> <p>■ 実践課題                  ・短いモチーフやメロディの作曲                  ■ プロジェクト制作（全4作品以上）                  ・テレビ/CM音楽：2作品                  ・映画シーン音楽：2作品</p> <p>さらに、ティム先生による日本での映画制作のリアルな現場経験談や、映画音楽ビジネスの仕組みについての特別講義も実施。</p>			
教材・参考書	テキスト・楽譜・映像/音声資料をすべてティム先生が提供			
成績評価の方法	出席状況および課題提出により評価 ※期末試験なし/最終プロジェクトあり			
履修上の指示事項	未経験でもOK！ 楽譜が読めなくても受講可能（読める方はさらに理解が深まります）			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	47	ピアノ・音楽基礎知識	4単位	通年
指導講師	富沢 颯斗			
授業のテーマ	楽典、楽曲分析、ソルフェージュを通じて基礎知識の習得を目指します。			
授業計画及び内容	<p><b>【楽典】</b>                  ・音程 ・和音                  ・和音の機能 ・非和声音                  ・形式 ・教会旋法 など</p> <p><b>【楽曲分析】</b>                  ・和音記号を使った分析 ・コード分析                  ・分析をもとに演奏に繋げるための考察 など</p> <p><b>【ソルフェージュ】</b>                  ・聴音 ・リズム                  ・即興演奏 ・作曲 など</p> <p>※どの科目も予備知識無しでも受講可能です。</p>			
教材・参考書	授業内で指示			
成績評価の方法	出席状況等			
履修上の指示事項	筆記用具・五線ノートの持参を推奨します			